

青い森クラウドベース、S3 互換のオブジェクトストレージを固定料金で提供

平成 29 年 9 月 26 日
青い森クラウドベース株式会社

青い森クラウドベース株式会社（本社：青森県弘前市、代表取締役社長 長内 睦郎、以下「当社」）は、S3 互換のオブジェクトストレージを 1GB あたり 15 円にて 2017 年 10 月 2 日（月）より販売開始いたします。

昨年度よりクラウドサービスを開始しておりますが、多くのお客様より、S3 互換のオブジェクトストレージ（※1）の要望を頂くとともに、IT 専門調査会社 IDC Japan 株式会社の予測では、2020 年の国内ファイル/オブジェクトストレージ市場は 1,422 億 9,600 万円、2015 年～2020 年の年間平均成長率は 10.7%と示されております。

当社では、お客様のニーズと市場の要望にお応えすべく、S3 互換のオブジェクトストレージを 1GB あたり 15 円（税別）でご提供いたします。エネルギー産業創造特区内に設立された青い森クラウドベースは、Tier3（※2）のデータセンターを運用管理しており、高密度ラック向けハウジングサービスやコロケーションサービスを初め、さまざまなクラウドサービスを低コストで提供しています。また、自然災害も少ない場所に立地していますので、安心して選定が出来るデータセンターです。

本ソリューションにより、ユーザー企業は、低コストで大容量データを効率的に管理、活用する事が可能になります。また、青い森クラウドベースの提供するクラウドサービスと連携する事により、高パフォーマンスなインフラ基盤を構築する事が可能となります。

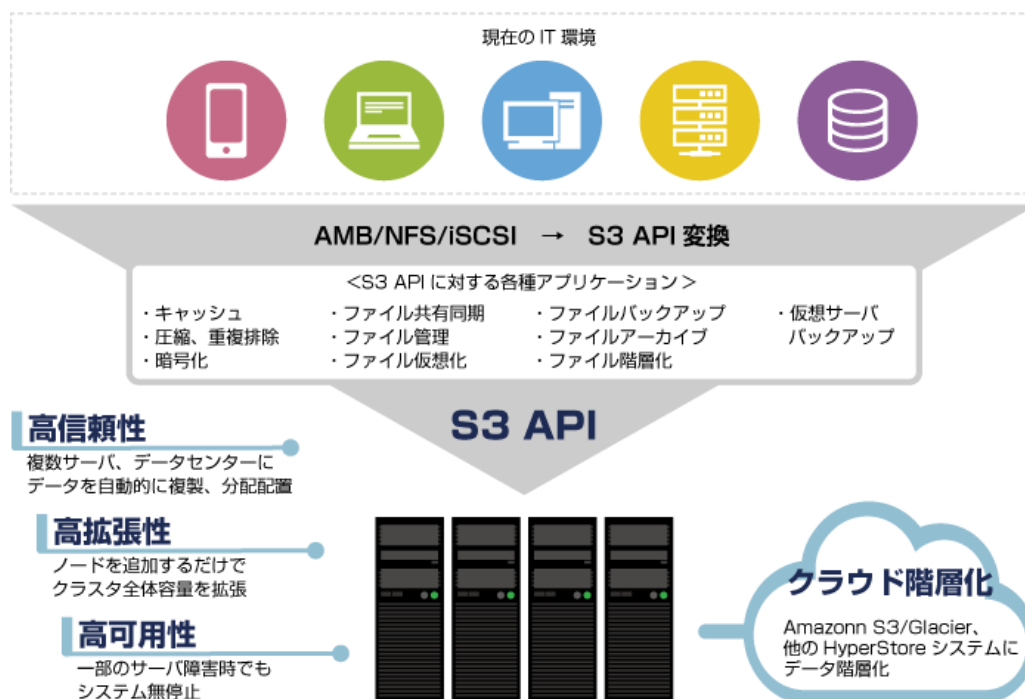
※1：S3 互換のオブジェクトストレージ

オブジェクトストレージはデータを「オブジェクト」という単位で扱う記憶装置です。ディレクトリ構造で管理するファイルストレージとは異なり、データサイズやデータ数の保存制限がないため、大容量データの保存に適しています。クラウド型のオブジェクトストレージである Amazon S3 の登場によってその存在が一躍認識されましたが、現在はプライベートクラウドなどでもオブジェクトストレージのニーズが増大しています。

※2 : Tier3

Tier とは、日本データセンター協会が定めた統一の基準であり、1~4 までの段階があり、Tier4 が最上位です。Tier3 は、地震や火災など災害に対して、一般建物より高いレベルでの安全性が確保されており、機器のメンテナンスなど一部設備の一時停止時においても、コンピューティングサービスを継続して提供できる冗長構成の設備が必須になります。また、建物およびサーバ室へのアクセス管理が実施されている事が必要であり、想定するエンドユーザの稼働信頼性：99.98%以上となっています。

<ソリューションイメージ>



<青い森クラウドベース株式会社 概要>

- ・社名 : 青い森クラウドベース株式会社
- ・所在地 : 青森県弘前市大字宮川 3-5-2
- ・代表者 : 長内 睦郎 (代表取締役社長)
- ・設立 : 2014年5月
- ・ウェブサイト : <https://aoimoricb.co.jp/>

【ニュースリリース、データセンター、サービスに関するお問い合わせ】

青い森クラウドベース株式会社 東京支店 担当：浅野

TEL : 03-5826-8485 (受付時間 10:00-18:00 ※土日祝日を除く)

E-mail : otoiawase@aoimoricb.co.jp